

新型コロナウイルスに有効な消毒方法について

消毒を効果的に行うために知っておきたいこと

～消毒方法を知ること健康な社会を～

はじめに

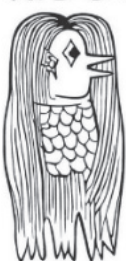
新型コロナウイルスの感染予防対策として、日々新しい情報が更新されています。

手洗いを基本とする下図の対策の実施に加え、物品の消毒薬として次亜塩素酸ナトリウムやエタノール（70%～95%）の代わりとなる、界面活性剤や次亜塩素酸水などの消毒方法について有用性が確認されています。



適切な代替消毒方法を上手に実施することが継続的な感染予防対策につながると考えられるため、今回は、消毒効果に影響を与える要因や注意点についてお話したいと思います。

知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!

感染拡大

— COVID-19 —



厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ
 新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

消毒効果に影響を与える主な要因について

報告されている消毒方法は、同じものを使っても使用する条件によって効果に差が出てきます。

要因	注意点
①表面の汚れ	汚れがあると効果が弱くなります。消毒する物や場所の汚れを落としてから使用しましょう。
②消毒液の濃度	消毒効果を発揮させるには定められた濃度で正しく使用することが重要です。濃度が薄ければ消毒効果が期待できず、濃すぎれば一般に消毒効果は強くなりますが副作用が起こりやすくなります。
③温度	消毒効果をみる検証試験は、室温（25℃）で実施されていることが多く、一般に温度が高いほど効果は強くなり、温度が低いほど効果は弱くなります。ただし、熱で分解する次亜塩素酸ナトリウム・次亜塩素酸水や、気化するエタノールのような消毒方法は、温度を上げすぎると濃度が下がり効果が弱くなるため注意が必要です。
④日光	次亜塩素酸ナトリウム・次亜塩素酸水は、光が当たることによって分解が進み濃度低下により効果が弱くなります。
⑤作用時間	消毒方法が効果を示すには対象物と一定時間の接触が必要になります。作用時間が長い程、効果は良くなりますが、副作用の影響は強くなります。濃度が低く、温度が低いほど作用時間を長くする必要があります。
⑥材質への吸着	塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウムについては、繊維・布など綿製品に吸着するため効果が弱くなります。

主な代替消毒薬の注意点

主な代替消毒薬	注意点
高濃度アルコール (消毒用エタノールの代替) 手指○：モノ○	濃度70%以上95%以下のエタノールを選ぶようにしてください。入手困難な場合は、60%台でも代用できます。
家庭用漂白剤 (次亜塩素酸ナトリウムの代替) 手指×：モノ○	経時的に濃度が薄くなるため、25℃を超えない、直射日光が当たらない涼しいところでの保管をお願いします。
界面活性剤 (家庭用洗剤・せっけん) 手指○：モノ○ ※手指用とモノ用があります	手を洗う場合には10秒のもみ洗い後、流水で15秒すすぐことで効果がありますが、モノに対しては20秒～5分の作用時間を必要とします。消毒に必要な時間をしっかりとしましょう。
次亜塩素酸水 手指－：モノ○ ※手指に対しては未評価	次亜塩素酸ナトリウムと名前が似ていますが全く別です。汚れの影響を受けやすいので消毒したいモノの汚れをあらかじめ落とす必要があります。十分な量（ひたひたに濡らす程度）と20秒程度の作用時間を必要とします。

※いずれの消毒方法も対象物に消毒成分が残っていると材質等を痛めることがあるため使用後は拭き取り掃除をしましょう。

おわりに

安全に、効果的に消毒薬を使用するためには、目的に合った適切な消毒薬を選択し、注意点を守って消毒することが大切です。また、日頃から石鹸やハンドソープで丁寧な手洗いを行い、手や指などのウイルスを減らすことも重要です。

これから寒い季節になり、気温の低下も消毒効果に影響します。20度ぐらいの室温で実施することをお勧めしますが、不可能な場合は、他の感染予防策も併せて実施するようにしてください。

消毒薬や環境衛生商品については個々にさまざまな注意点がございませう。ご不明な点は薬剤師にご相談ください。

(相模原市薬剤師会 馬淵 彰三)